

『2024年春季サイクリング大会 かながわシニアスポーツフェスタ 2024 (4/20 開催)』

2024年度の春季サイクリング大会は4月20日に茅ヶ崎/平塚を拠点としているサイクリングクラブ・TSCCがコースと進行を担当しました。

TSCCでは2月からコース案を立て念入りにコースを検討しています。

今回は小田急線の江ノ島駅から海、江ノ島と富士山を見ながら大磯に向かう人気があるコース設定です。

天気さえ良ければ写真撮影と潮の香りが堪能できます。数日前から、当日は天気が良く、そして気温も、そこそこに上がるとの予報が出ており、多くの参加者が予想できました。当日は期待通りで29名の参加がありました。(ヨコハマCC、大師CC、ヨコスカCC、と個人参加5名)

今回のコースの魅力は江ノ島から茅ヶ崎まで続く海岸線のコースです。湘南大橋を越えた先で、平塚市内に迂回し、再び海岸線の太平洋岸自転車道で海を見ながら大磯に入り、城山公園(旧三井財閥別荘跡地と旧吉田茂邸跡地)の脇を抜け、歴史を楽しめる明治記念大磯邸園(旧大隈重信別邸・旧古河別邸と陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸の庭園)までの23Kmのコースです。午前10時に小田急電鉄の片瀬江ノ島駅(竜宮城)をバックに集合写真を撮り、続いて出発前のブリーフィングを予定通りに終え出発しました。

参加人数が多いのでコースを知っているTSCCのメンバーを列の途中に入れ、列がちぎれた際にも対応ができるようにしました。

先頭のグループは、国道134号線を平塚まで走行しました。途中の信号でちぎれた以降のグループは、砂浜脇を走り、景色や砂地を堪能され先頭グループから30分遅れて平塚に到着しました。



参加者の多くが川崎や横浜から来ているので、大磯から自走で帰宅される方をこのことを考えて、早めに解散する計画です。明治記念大磯邸園で30分ほど園内散策の時間をとり12時30分散散としました。

大磯邸園は2023年度内に終わる工事が2024年度にずれ込み、あいにく建物内の見学はできませんでした。又駐輪場も整備されておらず、サイドスタンドのない自転車10数台を交互に重ねる駐輪は迫力がありました。

大磯周辺にはまだまだ見所があります。事前にパンフレットを渡してありましたので、余力のあるチームや個人の方は、それぞれに昼食や他の観光スポットを楽しまれつつ無事に帰宅されたものと推察します。

本当に天候に恵まれ事故も無く、お昼時に解散でき大成功でした。

こういう楽しめるサイクリング大会には、また参加して見たいと思っていただけたら幸いです。

文：梅津 雅章 様 写真：サイクリングクラブ・TSCCほか



朝の受付時に横浜国立大学サイクリングサークル(YNUCC)同好会の新歓サイクリングに遭遇し談笑しました。サークル幹事よりコロナ渦(うず)に揉まれた跡の苦労を肌と感じました。

今回は、【名称：第36回全国健康福祉祭とっとり大会 愛称：ねんりんピックはばたけ鳥取2024】の選手選考を兼ねました。公益社団法人かながわ福祉サービス振興会・かながわシニアスポーツフェスタ事務局より朝長課長もお見えになりました。

散会后、副代表理事と会計にて来期以降の事業計画について打合せを行いました。

今期は、最初から天候に恵まれました。事業活動も「天に恵まれ運に恵まれ」は是くありたいと思います。

今回よりコースマップをお配りすることにしました。ホームページ掲載の要項からリンク参照するなどしてソロ・サイクリングの練習を兼ねて地図を読む習慣付け、自分なりのペース配分や準備などにお役立てください。

次回は、大師サイクリングクラブにお願いしました。



星野